

## 令和元年度 第1回長野県教科用図書選定審議会議事録（案）

- 1 日時：平成31年4月11日（木）午前14時～16時半
- 2 会場：県庁議会棟405号室
- 3 出席者 ○委員：北沢委員、佐藤委員、清水委員、日向委員、水井委員、栗津原委員、萩原委員、小林里恵子委員、小林雅彦委員、石井委員、木内委員、小平委員、田仲委員、水口委員  
○幹事：三輪教育次長、佐倉学びの改革支援課長 他

### 4 内容

#### (1) 議事

#### ① 「特別の教科 道徳」を除く中学校用教科書の採択基準及び選定資料について

- ▶ 提案のとおり承認

#### ② 調査員の任命について

- ▶ 調査員の名簿については非公開

#### ③ 採択基準について

##### ○小学校用教科書

【清水委員】教科書採択基準についてはこれで結構ではないか。

【塚田委員】よい。

【萩原委員】「主体的・対話的で深い学び」という文言の中で教科書が今回作成された。そういったものはこの中には入っているか。

【水口会長】関連した意見はあるか。3の内容の扱いのところの3つ目「主体的」という文言が入っているが、必ずしも示されたもの全てが満たされていないように思う。

【萩原委員】どんな教科書にも構成があるのでわからないが、その話題性としては、これを含んだものを調査員の方で指示しながら進めていければと思う。

【事務局】それは学び方になる。後で、調査観点でさらに具体的に変わったところが出てくる。

【萩原委員】よい。

【水口会長】他の意見は。今出されたことは、調査観点でまた改めて審議していただく。

【委員】特になし。

##### ○特別支援学校小・中学部及び小・中学校特別支援学級において教科用図書として使用する一般図書

【栗津原委員】この通りでよい。

【小林(里)委員】教科・領域についての配慮もされており、個々の指導形態の実態に関する配慮がなされている。この基準でよい。

【水口会長】他の意見はあるか。採択基準について案の通りに決定してよいか。

【委員】よい。

#### ④ 選定に必要な資料について

##### ○小学校用教科書

##### 国語、書写、社会、地図

【北沢委員】「主体的・対話的で深い学びを目指す」で教科書はあくまで教科用図書で限界がある。

実際は授業を作っていく中で、教師が対話的で深い学びになるような授業を工夫していくことが大事だと思う。そのための教職員への示唆なり、何らかの工夫が教科書に盛り込まれていれば、さらによいのではないのか。算数の2は個に応じた部分が多く、他者と学びあったり、関わりあったり、対話をして、考えを深めていくことが薄いのではないか。その視点が2か4に入るといいと思う。

【清水委員】賛成。教科書を使って教師が「主体的・対話的で深い学び」を作っていくことが大前提

だが、その観点を示すことは大事なことはないか。新聞報道で、そういうことが載っているとも聞いている。集団の中で意見を交換したり、学び合っていく中で自分の考えが深まったりしていく部分があると思う。

【水口会長】今の提案は「主体的・対話的で深い学び」という文言を教科書採択基準の観点の中に入れるのが望ましいのではないかということ、入れるとした場合には2あるいは4のいずれかがよいだろうということ。種目によって内容が少し違うので、今の文言を入れる、入れない、あるいは、どの部分に入れるかについては、全ての種目について全体的に一度見て議論し終わった後で話し合いたいが、いかがか。

【委員】よい。

【水口会長】今指摘いただいた議論は、どの種目についても重要だと思うので、全体を通して終わった後に再度検討したい。今の4種目に関して、改めて何か気付いた点や提案等あるか。

【委員】なし。

#### 算数・理科・生活・音楽

【佐藤委員】ユニバーサルデザインについての観点があり、大事なことだと改めて考えさせられた。ただ観点を言葉の最初のところ「色覚の多様性に配慮した配色」というのは、どういった視点で評価をしていくのか曖昧だと感じた。色覚に特性のある子にとって見やすいことは、どの子にとっても見やすい内容といった前提を大事にしながら、実際に調査員の方々が調査をしていただければいい。

【日向委員】緑が見にくいとか背景を黒にしたらわかりやすいとか、そういうことがあるとは思いますが、個に応じて特別支援の方は対応できる。皆が使う教科書の採択の部分では、どこまでこれを配慮できるのかは難しい部分もある。

【水口会長】例えば一つの代案として「どの子にとってもわかりやすい配色であり」など考えられているが、他に適切な表現を指摘していただきたい。

【水井委員】「どの子にとっても」という文言は、分かりやすい。ただ様々な障がいの方がいるので、それを一つにできるかどうかというのは難しい。音楽では、5番のユニバーサルデザイン的なところで、音楽を捉えるのが難しい子にとって、音楽を視覚化していく支援がとても有効なので、2（5）に音楽の視覚化というようなことを加え、配慮するのもいい。

【水口会長】音楽を視覚化して表す配慮、それは（5）の内容の理解を深めるという代わりに、音楽を視覚化して表す配慮というような。

【水井委員】「楽譜、挿絵、写真が鮮明で…高め」ということに並列して。

【水口会長】「…高め、音楽を視覚化して表す配慮、内容の理解を深める」ということか。まずは順を追って、どの子の多様性も非常に多様なので難しいかもしれないということで、一つの例として、「色覚」ではなくて、「色彩の多様性に配慮して」だとどうか。「色覚」だと色をどう感じるのかによる。教科書の中の撮影等の「色彩の多様性」に配慮するというのはどうか。

【佐藤委員】観点なので、調査員が共通の観点というものさしを持って、教科書にあたってほしいということ。それぞれの調査員がどう、物差しとしていくのが不安だった。「色彩の多様性に配慮する」のはわかる。「配色」とあるので、どういった色使いをしていけばいいのかといったことや、どういった色の濃淡をしているからこの会社のはいいと捉えるのか、根本が曖昧だと思う。共通の観点になりうるかと考えると不安。こういったことが分かれば調査員も自信をもって審査にあたる。

【水口会長】「人の多様性に配慮した配色」で（色遣いや濃淡などである）とするのはどうか。

【佐藤委員】審査にあたる方はこの見方で見てくださいという一つの例。それが求められているユニバーサルデザインを大事にしたものになっているか。かえってそれを狭めている。

【水口会長】 たしかに選定するにあたって、ユニバーサルデザインの考え方がゆがんでしまってもいけない。選定するときの基準として明確なものがなければ、選定自体が成立しないものになってしまう。今のように「多様性に配慮した配色」で括弧を付けて（色遣いや濃淡がある）とすれば選定自体はしやすいのではないか。選定される際の基準は必要。先ほどの主体的でというのと同様、最後に回して、音楽の部分、教科名「音楽」の2（5）で、文言を加筆するという点はいかがか。中ほどに「楽譜、挿絵、写真などが鮮明で、学習への意欲を高め、音楽を視覚的に表す配慮がされ、内容の理解を深めるよう・・・」という文言を加筆するという意見についてはどうか。もし今の文言を加えることが望ましいのであれば、文言を精査して加筆するというようなことでよいか。

【事務局】 加筆を考えたい。

【水口会長】 この視覚のところについては、残りのところを少し検討しながら、こういった表現を加えると、よりユニバーサルデザインの考え方を損なわず、審査する方が審査しやすくなるのかを、また審議したい。他に意見はあるか。

【委員】 なし。

#### 図画工作、家庭、保健、外国語、道徳

【清水委員】 外国語英語、37 ページ 2（2）「コミュニケーション…」これは3に入るのではないかと。3（2）「言語活動の配列や…」はわかりにくい。（2）をここにした方がいい。2（2）ですが、「外国語を通して～することができる」が目標になっている。大事なことはこの単元この時間、この単元の最後に、実際にどのようなことができるかの見通しがもてる教科書がいい。そんな観点で大事ではないか。併せて、3の（4）「外国語やコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる」ということが分からない。

【水口会長】 今と関連したところで何かあるか。

【委員】 なし。

【水口会長】 今指摘いただいた点は、1つ目は外国語英語の2（2）は3（2）の部分にした方がいいこと、2つ目は抜けた2（2）については見通しを示すような文言の方がよいのではないかと。3つ目は3（4）「外国語やコミュニケーションにおける見方・考え方がわかりにくい」ということ。より分かりやすい文言や、代案となる文言があれば意見をいただきたい。

【小岩井幹事】 2（2）に関しては、今まで言語活動というのがコミュニケーションをするための言語活動ということで、練習と一緒にしていたが、新しい指導要領では、小学校も中学校も分けられたため、分かりやすくするためのメッセージとして2（2）は、この形にしている。小学校の方は、文法を教えることが第一の目標ではないため、緩やかな書き方になっている。（4）に関しては、学習指導要領で「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ」といった文言があるためこのような言葉を使っている。

【清水委員】 学習指導要領にあれば結構。

【北沢委員】 先程2か4に入れてほしいと言ったが、3か4に入れてほしい。やはり「主体的」、「個に応じた」というのが含まれていると、他者との関わりの中で学びを深めるという視点が弱い。24ページの採択基準の3（7）の部分が、これまでの学習指導要領から大きく学びが改革される以上、この視点を「他者と学び合う」、「対話的」という視点を入れること、それによってより理解が深くなっていくということを入れないと、各教科に反映されてこない。実際に現場にいる教師のことを考えると、初任の教師からベテランの教師までそれぞれ同じ土俵に立って子どもたちにある程度の学びの保障があってほしいと思う。新しい学習指導要領の3つのキーワードに沿って選ぶのがいい。「主体的・対話的で深い学び」というところを加えてほしい。

## 全体

- 【水口会長】先ほど指摘があった「主体的・対話的な深い学び」と、ユニバーサルデザインの2点について改めて議論していきたい。
- 【小林(雅)委員】北沢委員と同感。他者と関わるといふ文言が使われているのが音楽しかない。例えば17ページには、今話題になった24ページの基礎的・基本的な思考力・判断力、主体的などいふ文言が17頁2(1)に出ている。この文言をよく読むと、3番目の「主体的に学習に取り組む態度を養い、個を生かし多様な人々との協働を促す教育」といったところが、今言ったところに関わってくるのではないかと思う。例えば外国語のコミュニケーションという言葉の中にも他者との関わりが含まれている。この「主体的に学習に取り組む態度」の後の部分、「多様な人々との協働を促す教育」というのは、対話的で深い学びを引き出す上で、今回とても大きな要素なのではないか。24ページの3つの大切な部分の特に「主体的」の文言のところには、「他者との協働」、「関わり」といふことが表現できれば解決できるのではないか。
- 【曾根原幹事】この3つは、新しく学習指導要領で変わった資質・能力ベースの資質に沿った3つになっている。「主体的・対話的で深い学び」は、授業を改善するための視点であって、目指すもの、観点に入れるのではなく、大切な文言は、散りばめられるべき。例えば、算数の2(3)に「問題解決の過程に相互に関わり合いながら言語活動・・・」の「相互に関わり合い」といふところが、対話的な要素が入っている。これを学習活動への配慮に入れるか指導に入れるかだが、「主体的・対話的で深い学び」といふのは、子どもの活動なので、学習活動の配慮の方に入るのではないか。そうすると、入っているものと入っていないものがあるといふのも事実。ここは整理して、みんな「主体的」や「対話的」といふ関わりが見える文言を少し入れないといけぬ。もし、この3(2)につけるとしたら、関連性、連続性、個に応じた指導の中に、「他者との協働」、「まとめと評価」といふ文言を、括弧の中でなく下に付け加えたらどうか。
- 【水口会長】3の4番目の「まとめと評価」の前に、「他者との協働」といふ文言を入れるといふことだが、それに伴って2番以降の種目の中に、この「他者との協働」といふようなニュアンスや、それを反映させたものが全て入っていなければならない。入っているものと入っていないものを検分して、入っていなければ入れていく必要があるといふことか。
- 【曾根原幹事】「見方・考え方を働かせ」の後に、例えば、「相互に関わり合いながら」といふ言葉を全部に入れていく。上は、例えば国語なら、「・・・全体を通して、主体的に関わり合いながら学習できるよう工夫されている」といふような言葉を付け足す。
- 【水口会長】例えば国語であれば、2(3)の「児童の言語活動を踏まえて、全体を通して主体的・対話的な学習を促す」とするといふことか。
- 【事務局】「対話的」といふのは、相互に関わり合うといふ言葉の方がいいか。
- 【水口会長】2の(3)の「全体を通して、相互に関わり合いながら、主体的な学習を」でいいか。
- 【北沢委員】主体的といふには全ての学習活動でいいと思うが、実際の授業場面で対話的に学び合うといふ場面を、「全体を通して」といふ条件を付けると戸惑う。「全体を通して」をカットする方がいい。
- 【水口会長】国語では、2(3)「児童の言語活動を踏まえて、主体的・対話的な学習を促す工夫がされているか」として、3(3)は「主体的に取り組みながら、言葉による見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら各領域の言語活動が十分に行われるようにする」としてよいか。よろしければ、以下これにならう。
- 【委員】よい。
- 【水口会長】書写はこれでよろしいか。

【委員】よい。

【水口会長】社会科は、2（3）「児童自ら課題を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫されている」。3（3）は、「社会的な見方・考え方を働かせ」の後に、同じく「相互に関わり合いながら」が入るといふことでいいか。

【委員】地図帳そのままよい。

【水口会長】算数は「相互に関わる」が入っている。

【事務局】2（3）の「相互に関わる」のが何と何かというと、現実の世界と数学の世界が相互に関わるということ。ここにも同じように入れた方がよい。

【水口会長】算数は、「相互に関わり合いながら、主体的・対話的な言語活動を充実させる」ということでいいか。今までと若干ニュアンス違う気がするが。「現実の世界と数学の世界に、児童自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう・・・」でいいか。

【曾根原幹事】学習指導要領の中身が入りすぎているので、社会と同じでいい。

【水口会長】算数3（3）「主体的に活動しながら、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的に」は入れた方がいいか。「主体的で主体的」になる。「主体的・対話的に活動しながら」とすれば問題がない気がするが。

【曾根原幹事】「主体的に活動して、数学的な見方・考え方」となると、個の思考のことになる。

【小平委員】算数に関しては、友達と一緒にどうにかしようということではない。対話的な必要はない。現実世界と数学の世界というの、要は、算数を習うことで、おこずかいの管理をするとか、計算をして管理するとか、お菓子を管理するとか、数学の世界というのは、計算のことなので、観点が他の教科とは違う。「主体的」というのも、人と関わろうとかいう問題ではない気がする。このままでいいのではないか。

【塚田委員】小学校で算数を毎日教えているが、今の教科書にも、一つの考えについて「私はこう思う」「私はこう思うよ」と、他者と関わり合いながら学びを深め、さらにそれを全体に広げていく。算数も他者との関わり合いがないわけではなく、いろんな友だちの考え方をすることで考えを深めていくということがある。個で考えた後の、全体への広がりの中で、「捉え」の後か、「立て」の後で、「相互に関わり合いながら」と入れるといい。

【水口会長】「根拠を基に筋道を立てる」も、多くの人とのとらえれば後ろになる。思考のことや根拠を基にした筋道など全体を相互に関わり合いながらというのであれば、前の方。大変悩ましい。

【栗津原委員】今の考えがいい。思考力・判断力・表現力を育成するために表現し伝え合ったり学び合ったり高め合ったりする活動を取り上げていくことが学習指導要領に書かれている。「相互に関わり合いながら」を「根拠を基に」の前に入れるとつながる。

【水口会長】3（3）「根拠を基に筋道」の前に、「相互に関わり合いながら」という文言を入れるということではいいか。

【曾根原幹事】2（3）はこの文言のままではどうでしょうか。「現実の世界と数学の世界が相互に関わる」というのは、算数、数学が閉じていることが問題だといわれる。そういう視点で見たい。

【水口会長】ここに書かれた文言を読んで、読んだ方が「分かる」ということであれば、それがよろしいように思う。これで採択の判断ができれば、これでよしと思うがいかがか。

【委員】よい。

【水口会長】ではその部分はこのままで。

【水口会長】2児童の学習活動への配慮のところ、（3）で「学習が、主体的・対話的に行われるよう配慮されているか」、3（2）は「理科の見方・考え方を働かせて、相互に関わり合いながら、問題を科学的に」ということでいいか。

【委員】よい。

【水口会長】生活については、2（3）で「伝え合う」という文言が入っているので、このままでよい。同じく3（4）も、「伝え合い」とあるので原文のままでよろしいか。音楽も2（2）「他者と協働し」がある。3（3）は「主体的に取り組みながら、音楽的な見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら、多様な・・・」でよいか。

【委員】よい。

【水口会長】図画工作は、2（2）が、「主体的」のみなので、「主体的・対話的に活動できるような」とし、3（3）では、「造形的な見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら」でどうか。

【委員】よい。

【水口会長】家庭科2（3）に「家庭生活を実感的に」とあるが、これは「主体的」と完全に一致はしない。家庭科2（3）を「家庭生活を主体的・対話的に」とするのはどうか。

【北沢委員】2（3）「興味・関心を持って、主体的・対話的に」とし、後ろはこのままで。3（3）は、「主体的に、相互に関わり合って活動できるよう」に。

【水口会長】体育は2（2）の後半、「主体的・対話的に課題の解決に向けて」とし、3（3）「見方・考え方を働かせながら、主体的に、相互に関わり合いながら活動に取り組めるように」でよいか。

【委員】よい。

【水口会長】外国語英語は2（3）に「主体的・対話的な学習を促す」、3（4）「働かせて、言語活動を行う際、相互に関わり合いながら、英語学習が適切にできるよう」でどうか。

【小岩井幹事】2（2）は、言語活動について入っているところがある。「練習活動」という言葉がよくない。指導の内容を下におろしたい。（2）「コミュニケーションを図るための言語活動」を、学習指導要領の言葉にして、「実際に英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動が展開されるよう、内容構成への配慮がされている」としたい。また、練習的なことを指導の方に入れたいため、3（2）で「また、言語活動をする際に必要に応じて言語材料について理解したり、練習したりするための指導が含まれている。」と入れたい。

【小平委員】「相互に関わり合いながら」のところが、（4）に入っている。3（3）の「主体的に」の後がいいかと思う。

【水口会長】その方が流れもわかりやすいし、理解しやすい。3（3）に「相互に関わり合いながら取り組めるよう」と入れてよいか。

【水口会長】道徳は、2（4）に「主体的」とあるので、「主体的・対話的に学習できるよう」、3（2）「児童が主体的に相互に関わり合いながら」となるか。

【委員】よい。

【水口会長】ユニバーサルデザインについての文言だが、「色覚の多様性に配慮した配色であり」という表現をどのようにすると、ユニバーサルデザインの考え方をゆがめず、かつ選定する際の基準としてもよいものになるか。

【小平委員】何をもって「色覚の多様性」というのかによるが、「色覚の」をなくせばいいのではない。「多様性」が大事ならその方が分かりやすい。

【事務局】「全ての児童にとって、読みやすさに工夫された」と、「色覚」としないようにしたらどうか。はじめにこうしたのは、②の資料の10ページにある言葉だが、ここでは「全ての児童にとって読みやすさに工夫された」として、調査員に説明する際に、例えば「色覚」「濃淡」などといった具体的なことを、言葉で伝えるようにするのはどうか。「全ての児童にとって読みやすさに工夫がされた挿絵、写真、図表、配色、コントラスト等であり、

児童の学習意欲を高めるよう配慮されている。」というように、配色だけを取り出して書かず、並べるとのこと。

【委員】よい。

【水口会長】今のところまでで、何かあるか。

【委員】なし。

【小岩井幹事】2（2）について。「実際に英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動が展開されるよう内容構成への配慮がされているか」はどうか。3（3）に、「習熟の程度に応じた取扱ができるよう配慮されているか」とあり、ここに、練習が必要だった場合、理解を促す必要がある場合ということが入っているため、このままでいきたい。ただ、「基本的な」の後が、「言語材料に」となっているが、「基本的な言語材料が」とした方がいい。

【水口会長】今のような修正でよいか。

【清水委員】英語は音声がある。CDなど。あれも聞く対象になるのか。教科書の評価をするときに、音声の部分も聞いてみるということはあるのか。

【事務局】QRコードが付いていて、それで音が聞けたりすることがある。そういった工夫というのでも、調査の中で出てくるかと思う。

【清水委員】音声の部分も評価に含めるのかということ。

【事務局】調査は、教科書の調査のみ。

【清水委員】でも英語には音声もある。それも実際に聞いて、それも評価するということか。

【事務局】教科書の特徴を調査するということ。例えば、この教科書はQRコードが付いていて、音声が開ける、というのであれば、それも特徴と言える。

【清水委員】教科書だけということか。

【事務局】その通り。実際に、教科書は調査員の手元にあるため聞くことはできるが、調査員が行うのは教科書の調査ということ。

【清水委員】教科書にQRコードがあるのも特徴になるということか。

【事務局】そのとおり。

【清水委員】3（2）「言語活動の配列や相互の関わり」とあるが、「相互」とは何か。

【小岩井幹事】3年や4年で出た言語材料が、高学年になって再度出てくる仕組みになっている。

【清水委員】相互の関係がわかりづらいと思う。

【曾根原幹事】言語活動の配列や相互の関係ということ。

【清水委員】言語材料の関連付けということか。

【事務局】「言語材料の配列や言語材料相互の」としたらどうか。

【清水委員】そう入れてもらった方が分かりやすい。

【水口会長】全体を含め、意見はあるか。

【委員】なし。

#### ○特別支援学校小・中学部及び小・中学校特別支援学級において教科用図書として使用する一般図書

【水口会長】選定に必要な資料について意見はあるか。

【委員】なし。

【水口会長】ではこの案でよいか。

【委員】よい。

【水口会長】一般図書については、一覧表のものを調査することとしてよいか。

【委員】よい。

【水口会長】今回審議したものを基に、調査員に調査していただく。次回は、調査員が調査したもの

について審議していただく。全体を通して考えや要望はあるか。

【石井委員】よく考えていただいているありがたい。

【木内委員】特にユニバーサルデザインで、どんな子にもというところは大事だと感じた。資質・能力を育むということを大事にしたいと思った。

【小平委員】未来を担っていく子どもたちの教育のために、一生懸命考えていかれたらいい。

【会 長】以上で本日の審議を終了する。

**\* 議事内容については、全員意義なく承認されました。**